

第 25 回「戦争と医の倫理」の検証を進める会 世話人会会議報告

- ◇日 時 2013 年 3 月 20 日(水・祝日) 10:30~16:00
◇場 所 東京・保団連 8 階会議室
◇参加者 西山勝夫代表世話人、苮昭三、小島荘明各常任世話人、住江憲勇事務局長、川嶋みどり、岡田朝志、刈田啓史郎、村林彰、松井英介各世話人
(事務局) 原文夫、室井正、小林耕治、曾根貴子、宇都宮勉各氏

◇議長 西山代表世話人

◇報告及び協議事項

1. 松井英介世話人の紹介、及び保団連事務局担当者の交代等について

- ① 前回世話人会で世話人就任を確認した松井英介先生(岐阜環境医学研究所所長、NPO 法人 731 部隊・細菌戦資料センター共同代表)を紹介し、挨拶をいただいた。
- ② 3 月の保団連理事会で事務局人事の一部変更があり、保団連事務局の当会担当者を曾根貴子氏から宇都宮勉氏に交代し、室井正氏が定年退職(7/10)する旨の報告がありました。なお、小林耕治氏は引き続き継続する。

2. 第 24 回世話人会(12.12.23)会議報告の確認について

事務局より会議報告の要点説明があり、了承。

3. この間の主な活動と今後の対応について

(1) 次期医学会総会での企画実現に向けた要請について

- ① 井村第 29 回日本医学会総会会頭に要請(12/11/19)した以降の動きについて
日本医学会総会の組織委員会中村事務局長から、当会からの要請について「井村会頭より関連委員会の委員長に対して面談内容の報告をいただき、どのような対応ができるか検討するよう指示がありました。現時点では具体的な案はあがって来ておりませんので、今しばらくお待ち下さい」との報告をいただいた。
- ② 高久日本医学会会長への要請(1/8)について
1 月 8 日(火)に日本医学会(日本医師会館 4 階)で 1 時間 15 分ほど懇談・要請を行った。懇談の中で高久会長は、「総会企画の参画については、各学会だけでなく進める会が担当する方法もあり得る。その場合の採否の判断は、総会参加者の関心と呼び多数の入場者が見込まれるかどうか重要である。
私は歴史として残す必要があると考えている。『パネル集』はよくまとめられているし、多くのドクターに読んでもらう必要はあると思う。しかし、総会の企画として取り上げる場合、このことは戦争中のことと考えるのが一般的な常識で、これからはしないという教訓にはできても、このテーマで多くの方が集まるとは考えにくい」旨の考えが示された(詳細は会議資料参照)。
- ③ 横倉日本医師会会長への要請について
昨年 12 月 25 日に郵送し 1 ヶ月以上返答がないので、2 月 7 日に日本医師会の熊田会長秘書に電話でお話しした。熊田秘書は「要請文はいただいている。会長と対応を相談し連絡したい」と応対された。しかし、さらに 1 ヶ月過ぎても返答がないので、3 月 15 日に再度電話したが熊田秘書が休みのため会長室に返答の依頼を伝言。3 月 18 日に電話した。熊田秘書は、「横倉会長は失礼させていただきたい。他の役員で対応を検討しているのでお待ちいただきたい」と応対されたが、世話人会当日の 3 月 20 日時点でも未返答との報告が事務局よりあった。

④日本医学会各分科会理事長・会長、評議員宛のパネル集送付と依頼について

2月20日に日本医学会評議員会が開催されることも念頭に、2月13日付けで日本医学会各分科会理事長・会長、評議員宛のパネル集送付と企画検討の依頼を行った旨、事務局より報告された。

⑤酒井日本医史学会理事長（当会顧問）との懇談について

3月28日に懇談を準備している旨の報告を確認した。

(2) 国際シンポジウム・記録集の準備、及び録画CDについて

①国際シンポジウムの記録集作成について

当日の討論を含む「記録集（案）」が配布され、各報告者・発言者に修正等の確認をした上で発行することを確認した。この記録集は会内の記録保存用とする。各世話人会構成員、事務局に配布し、必要に応じて活用する。

②録画CDの作成について

録画の画面に、プログラムにそって講演者名などのタイトルを挿入した。その画面を上映のうえ確認した。これも記録用として、シンポジウムの運営関係者に配布する。

(3) 国際シンポ参加者、パネル展示来場者アンケート結果の整理について

前回の世話人会では、未定稿段階のアンケート結果を配付したが、それを整理のうえ特徴点を追加し、その内容を記録集に収録したことが報告され了承。

(4) パネル集の翻訳版の作業準備状況について

現在までの作業状況が下記のように報告された。

①英語版→小島先生が翻訳され、それに西山先生の意見を反映した翻訳文をMLで意見を求めたが特になかった。松村世話人を通じ英国人に校閲を依頼中。

②ドイツ語版→東北大学の窪先生が翻訳中で、校閲も含めて作業を依頼中。

③中国語版→張健華先生に依頼していたが多忙で翻訳は半分までとなったので、残り半分をABC企画共同代表の田中寛大東文化大学教授に依頼中（留学生が翻訳）。

④朝鮮語版→滋賀医大に留学中の任先生、チェ先生が監訳し、朝鮮語に熟達の日本人に翻訳を依頼中。

(5) 「日本の科学者」編集部から依頼の「特集」－企画案について

「日本の科学者」編集部から、今年8月号の「特集企画」として「国際シンポジウム」の内容に関する依頼を受け、そのテーマと執筆者の企画案が報告され了承。

4. 今後の世話人会開催予定、その他

(1) 次回開催予定 7月21日（日）午後1時～午後4時 会場 全日本民医連会議室

(2) 西山代表世話人より、「原発ゼロをめざすJSA討論集会資料」が提供され、「有事法制・国民保護法と原発」の題で紙上発表したことが紹介された。

このことに関連して、松井世話人より「福島原発事故による放射能汚染と健康問題」への対応の必要性などについて発言があった。

(3) 山口常任世話人より依頼があり、「思想としての『医学概論』」の出版と注文票を紹介した。

以上